

町会等への現状等調査に係る集計結果について

調査の概要

【調査の目的】

本市の124町会（1,130班）については、それぞれ規模や環境、形態が異なるものの、行政協力員制度を担うなど、住民福祉の増進や住民自治の推進に向けて、市行政の様々な業務と協力・連携を図っているところです。

しかしながら、社会情勢や生活環境の変化、少子高齢化・人口減少、さらにはコロナ禍による住民同士のつながりの希薄化、個人意識の多様化などの新たな課題も加わり、それぞれの町会や班の取り巻く環境も変化している状況にあります。

このため、町会や班など、地域の組織運営や活動内容に関する実態の把握と併せて、地域の抱える課題を抽出し、市の今後の施策に反映させていくため、行政協力員（町会長）、副行政協力員（副町会長）、行政連絡員（班長）を対象にアンケート調査を実施しました。

なお、本調査においては、高齢者ごみ出し支援の状況や身寄りのない高齢者及び空き家の把握に向けた調査も併せて実施しました。

【調査の概要】

- ①対象者：行政協力員（町会長） 123名
副行政協力員（副町会長） 158名
行政連絡員（班長） 1,130名
- ②時期：7月25日発送：8月30日締切（最終受付9月30日）
- ③配布方法：アンケート用紙を広報紙等と併せて配布する。
- ④回答方法：返信用封筒、パソコン、スマートフォンにより回答。

【回答状況】

対象者	対象者数	回答数 (n 値)	未回答	割合
行政協力員（町会長）	123	123	0	100.0%
副行政協力員（副町会長）	158	152	6	96.2%
行政連絡員（班長）	1,130	1,030	100	91.2%
全体	1,411	1,305	106	92.5%

（回答方法：郵送 82.99%・電子申請 11.42%・電子メール 0.61%・持参 4.98%）

※町会数 124 町会：行政協力員（町会長）123 名 → 1 つの町会で町会長を選出できていないため。

町会等への現状等調査に係る集計結果報告書 (概要版)

常陸太田市市民生活部市民協働推進課

【留意事項】

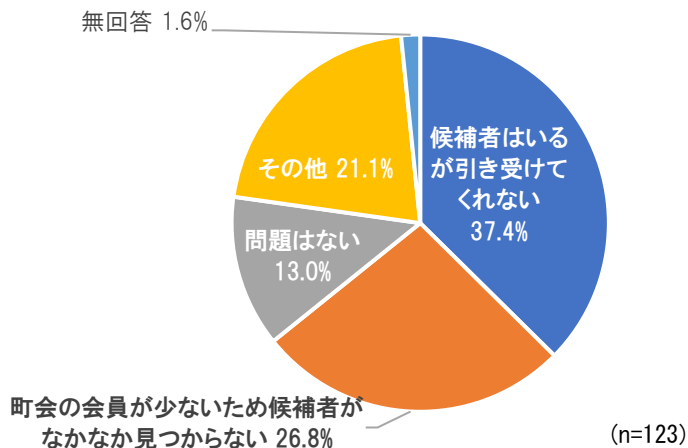
- ・集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入しており、比較の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているため、合計値は100.0%を超えます。
- ・「n=」は、各設問の回答者数です。

行政協力員（町会長）アンケート調査結果

問①：行政協力員（町会長）の選出について、困っている点や課題となっている事柄はありますか。

→ 「候補者はあるが引き受けてくれない」が37.4%と最も多く、次いで「町会の会員が少ないため候補者がなかなか見つからない」が26.8%となっている。

選択肢	回答数	割合
候補者はあるが引き受けてくれない	46	37.4%
町会の会員が少ないため候補者がなかなか見つからない	33	26.8%
問題はない	16	13.0%
その他	26	21.1%
無回答	2	1.6%



【候補者はあるが引き受けてくれない・・・理由】

- 町会長の仕事が多岐にわたり負担が大きい。
- 70歳近くまで働いている人が多く、町会長と業務が難しいため引き受ける人が限られてしまう。
- 副会長までは引き受けるが、会長となると引き受けてくれない。
- 雑用が多く精神的に休まらない。他の組織との兼務も多い。

【その他】

- 70歳くらいまでの方を候補者にしているが、定年年齢が延長されたことにより70歳ころまで勤められる方が多くなってかなり影響している。
- 現在のところ、年齢順で選出のため問題ないが、10年後は難しい（後継者がいなくなる）。
- 10年後に町会長、副町会長になる方は、仕事をしながらの役職となっている。
- 団地と農村部の混合所帯で、世帯数の多い団地からは町会長選出ができていない（自治会の制度問題等の理由による）。

問②：行政協力員（町会長）の業務で負担に感じていることについてお聞かせください。

【複数回答可】

→ 「民生委員等の各種委員の推薦」が61.8%と最も多く、次いで「各種補助金等の申請や実績報告の手続き」が43.1%となっている

選択肢	回答数	割合
民生委員等の各種委員の推薦	76	61.8%
各種補助金等の申請や実績報告の手続き	53	43.1%
行政への要望・陳情	47	38.2%
募金関係	31	25.2%
環境美化（一斉清掃等）	13	10.6%
特にない	13	10.6%
市の広報物関係（行政協力員等推薦書の提出等）	9	7.3%
その他	27	22.0%

(n=123)

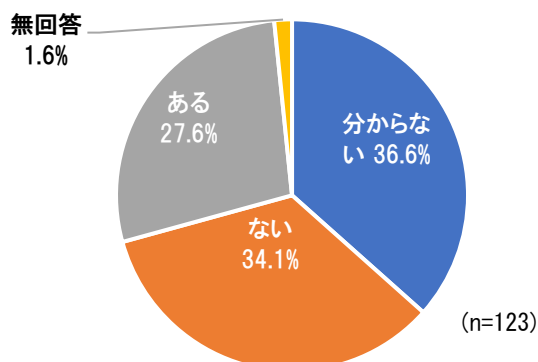
【その他】

- 地区町会長会への参加や、コミュニティ、社協支部等業務量が多すぎる。
- 町会内への連絡、徹底事項等の資料発行業務が多い。家庭内のトラブルに関する相談、なんでも町会長にと思い込んでいる方に苦慮している。
- 地域の問題や問題の処理を会長一人に対処することが多い。
- 町会長の業務が多すぎる。各種団体のあて職を減らすよう指導願いたい。今後、町会解散の可能性も出てくると思う。
- 特に民生委員の推薦に苦慮。パートなどの仕事をしている人が多く推薦できる人がいなくなっている。
- 町会と関係のない委員を推薦するには、作業内容や、人柄が不明なのに、要求されることに怒りを感じる
- 現在、まだ現役で働いているため、申請や報告、要望、陳情等の提出が平日なので、市役所に行くのが大変である。
- 町会の総会資料作成作業

問③：市では、現在、高齢等を理由にごみ出しが困難な方々を支援（安否確認を含む）していただくため、町会に対し1班につき5,000円の報奨金を交付しています。現在、高齢等を理由にごみ出し困難な世帯に対し、家庭ごみを地域のゴミ集積所まで搬出するなど支援をしている班があることを町会として把握していますか。

→ 「分からない」が36.6%、「ない」が34.1%、「ある」が27.6%であった。「ある」と答えた方うち、支援をしている班数は79（班）であった。

選択肢	回答数	割合
分からない	45	36.6%
ない	42	34.1%
ある	34	27.6%
無回答	2	1.6%

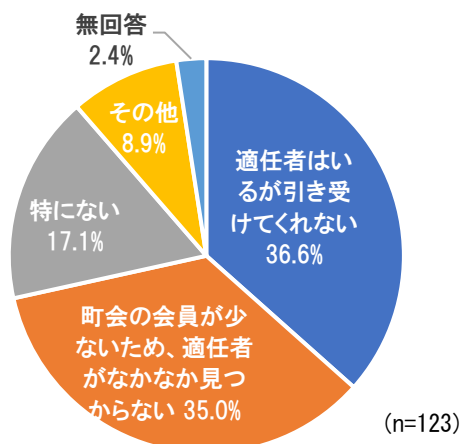


「ある」と回答中、把握している班の数：79

問④：民生委員や統計調査員などの推薦にあたり、困っている点や課題となっている事柄はありますか。

→ 「適任者はいるが引き受けてくれない」が36.6%と最も多く、次いで、「町会の会員が少ないため、適任者がなかなか見つからない」が35.0%となっている。

選択肢	回答数	割合
適任者はいるが引き受けてくれない	45	36.6%
町会の会員が少ないため、適任者がなかなか見つからない	43	35.0%
特にない	21	17.1%
その他	11	8.9%
無回答	3	2.4%



問⑤：民生委員や統計調査員などの推薦方法について、工夫している点や改善した事柄等ありましたら教えてください。【自由記述】

- 2年前から町会として各種委員選出のため「選考委員会」を組織して広く多くの目で選考に取り組んでいる。また、前任者1人に責任を負うことがないように配慮している。
- 民生委員は班の輪番制。その班の中で選出。
- 回覧で募集。民生委員を自治会の役員待遇とし、自治会でサポート。
- 何らかのルールがあって推薦すれば問題ないと思うが、単純に町会長推薦では、一本つりになるので、大変な労力がかかる。ルール化を出来るだけ図っている。
- 断られても断られても、何度も何度も訪問して、誠心誠意頼み込むしかありません。
- 良い工夫はなく、その都度頭を抱えて人選している。
- 手当を増額してほしい。 手当（費用弁償）が少なすぎる。

問⑥：町会の運営や活動において、町会が抱えている課題や、将来的に不安に感じている事柄はありますか。【複数回答可】

→ 「役員や会員の高齢化」が80.5%と最も多く、次いで、「役員の担い手がいらない」が62.6%、「地域住民の町会活動に対する意識の希薄化」が52.8%などとなっている。

選択肢	回答数	割合
役員や会員の高齢化	99	80.5%
役員の担い手がいらない	77	62.6%
地域住民の町会活動に対する意識の希薄化	65	52.8%
役員の負担が重い	46	37.4%
町会世帯の減少にともなう会員の減少	34	27.6%
町会未加入世帯の増加	18	14.6%
特になし	2	1.6%
その他	17	13.8%
無回答	1	0.8%

(n=123)

【その他】

- 農地の耕作放棄地の雑草問題。空き家対策。
- 空き家が増えている。
- 地域コミュニティと町会業務の融合等、町会長業務の削減化が必要。
- 特に町会長の負担が重い。
- 集会所の利用者減少により維持管理費の確保が難しい。

問⑦：課題や、将来に不安を感じている事柄について、どのような取り組みを行っていますか。また、どのような取り組みを行うのが良いと思いますか。【複数回答可】

→ すでに取り組んでいるものは「定期的に町会で話し合い」が35.0%と最も多く、次いで、「地域コミュニティとの連携」が26.8%となっている。

また、今後取り組むのが良いと思うのは「役員（町会長）の業務を分担」が27.6%と最も多く、次いで「役員の担い手育成」、「近隣町会との連携・統合」が24.4%となっている。

選択肢	すでに取り組んでいる		今後取り組むのがよい	
	回答数	割合	回答数	割合
定期的に町会で話し合い	43	35.0%	29	23.6%
地域コミュニティとの連携	33	26.8%	22	17.9%
役員（町会長）の業務を分担	32	26.0%	34	27.6%
町会業務のマニュアル化	15	12.2%	28	22.8%
未加入世帯への声掛け	14	11.4%	7	5.7%
近隣町会との連携・統合	13	10.6%	30	24.4%
役員の担い手育成	8	6.5%	30	24.4%
その他	4	3.3%	7	5.7%
無回答	42	34.1%	40	32.5%

(n=123)

【その他】

- 町会・班の統合。
- 役員数の減数と行事の選別による縮小。
- 役員任期が2年なので2年間の町会業務マニュアルを作成した。
- 地域コミュニティの充実を図るため、年齢ごとにあった事業を取り入れている。

問⑧：その他、行政協力員に関連してご意見等ありましたら教えてください。【自由記述】

- 町会に関連し、行政協力員として訴訟を起こされた場合の弁護士費用等を支援する保険制度の検討をお願いします。
- 町会長の業務は、多種多様なため、非常に多忙です。町会長業務の見直し、簡素化等をさらに進めていただきたく要望いたします。
- 近隣町会との連携をさらに図っていく必要があると考えております。現在も一部実施済みです。
- 市が中心になり、町会の合併、統合を強力に推進してほしい。
- 市役所への申請・届け出などをメールで行えるのはとても助かる。さらに充実してほしい。お願いとしては、市の各部門へメールしたときに、返信・応答がないケースが多く、届いているのか不安になることが多い。

副行政協力員（副町会長）アンケート調査結果

問①：副行政協力員（副町会長）の業務で負担に感じていることについてお聞かせください。

【複数回答可】

→「特にない」が49.3%と最も多く、次いで「環境美化（一斉清掃等）」が18.4%などとなっている。

選択肢	回答数	割合
特にない	75	49.3%
環境美化（一斉清掃等）	28	18.4%
行政への要望・陳情	24	15.8%
民生委員等の各種委員の推薦	23	15.1%
募金関係	22	14.5%
各種補助金等の申請や実績報告の手続き	16	10.5%
市の広報物関係（行政協力員等推薦書の提出等）	11	7.2%
その他	34	22.4%
無回答	4	2.6%

(n=152)

【その他】

- 会議や集まりが多く、仕事を休まないといけない。集合時間が早くて、子育てや仕事があると副会長はきびしい。
- 充て職が多く、関係機関の会議等への出席。
- 次の役員の選出作業。
- 各種補助金や工事等の申請等をオンラインでできるようになると負担軽減になると考える。
- 会社勤めのため集まりの出席はほぼ有給休暇のため会社からよく思われていない。

問②：町会の運営や活動において、町会が抱えている課題や、将来的に不安に感じている事柄はありますか。【複数回答可】

→「役員や会員の高齢化」が81.6%と最も多く、次いで、「町会未加入世帯の増加」が71.7%、「町会世帯の減少にともなう会員の減少」が51.3%などとなっている。

選択肢	回答数	割合
役員や会員の高齢化	124	81.6%
町会未加入世帯の増加	109	71.7%
町会世帯の減少にともなう会員の減少	78	51.3%
役員の担い手がいない	59	38.8%
予算が不足している	46	30.3%
役員の負担が重い	22	14.5%
地域住民の町会活動に対する意識の希薄化	16	10.5%
特にない	3	2.0%
その他	16	10.5%
無回答	4	2.6%

(n=152)

【その他】

- 高齢化により町会の活動が難しくなるのが心配です。
- 役員を公募しても応募者がいないため、現職の任期が長期化している。
- 若い役員が出て世代の交代や引継ぎを行えるような運営を行っていきながら、町内の活動に取り組んで行きたい。
- 役員の担い手は60代が良いと思いますが、年金が65歳以上となり勤務継続により役員を受けづらくなってしまい今後大変です。(継続勤務のため)町会の仕事をマニュアル化し誰でも不安なく役員に付けるようにするべきである。又、仕事をシンプル化し負担軽減を図るべきである。

問③：課題や、将来に不安を感じている事柄について、どのような取り組みを行っていますか。また、どのような取り組みを行うのが良いと思いますか。【複数回答可】

→ すでに取り組んでいるものは「定期的に町会で話し合い」「役員（町会長）の業務を分担」が38.8%と最も多く、次いで、「地域コミュニティとの連携」が30.3%となっている。

また、今後取り組むのが良いと思うものは「役員の担い手育成」が41.4%と最も多く、次いで「町会業務のマニュアル化」が27.0%となっている。

選択肢	すでに取り組んでいる		今後取り組むのが良い	
	回答数	割合	回答数	割合
定期的に町会で話し合い	59	38.8%	35	23.0%
役員（町会長）の業務を分担	59	38.8%	31	20.4%
地域コミュニティとの連携	46	30.3%	35	23.0%
町会業務のマニュアル化	28	18.4%	41	27.0%
近隣町会との連携・統合	23	15.1%	37	24.3%
未加入世帯への声掛け	15	9.9%	19	12.5%
役員の担い手育成	8	5.3%	63	41.4%
その他	9	5.9%	9	5.9%
無回答	42	27.6%	37	24.3%

(n=152)

【その他：すでに取り組んでいる】

- 町会規約の作成に取り組んでいます。

【その他：今後取り組むのが良い】

- 現状では役員の業務負担が多すぎて、後継者が期待できる環境にない。業務の簡素化が重要課題。
- 行政協力員の立場を市地区担当員と呼称し市への出向契約にしてやりがいを与えてはどうか。

問④：その他、副行政協力員に関連してご意見等ありましたら教えてください。【自由記述】

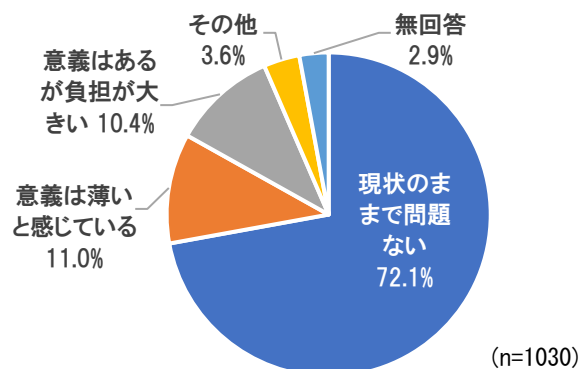
- 役員の担い手がいない。お願いしても断られてしまう。
- ボランティアに近いので担い手がいない。報酬が最低賃金より低いと言われる。増額すれば引き受けてもよいと言われる。
- 仕事をしていても行政協力員になれる様にしていかなければ、役員の世代交代は難しいと思います。
- 副行政協力員（副町会長）の研修等も開催してはどうか。
- 副行政協力員の負担はさほどでもないが、町会長の負担は大きい。
- 公民館後援会費・社会福祉協議会費・赤十字募金などは、町会を介さずに、各事業者が直接やって頂きたい。
- 高齢化の進行は極めて深刻です。民生委員さんの負担は年々大きくなり、引き受け手を探すのが大変です。ボランティアに頼るだけではない高齢化社会を支える施策はないのでしょうか。
- 避難困難者と協力者に関しては、保険の手続きしかなく、頻繁にだされている「高齢者避難」と連携していないと考えます。本町会では、自主的に避難訓練とあわせて高齢者避難を行っています。各町会におまかせでいいのでしょうか。疑問に思います。
- 市からの期待する町会長、副町会長マニュアルの配布があるとよい。他地域からの移住した方も町会業務を理解できる。また、他地域からの移住を考えている方もマニュアルがあれば安心できる。

行政連絡員（班長）アンケート調査結果

問①：回覧板には、情報の伝達と併せてご近所同士の見守りや高齢世帯の安否確認などの役割も含まれています。回覧板の役割について、どのようにお考えですか。

→ 「現状のままで問題がない」が72.1%と最も多く、次いで「意義は薄いと感じている」が11.0%となっている。

選択肢	回答数	割合
現状のままで問題ない	743	72.1%
意義は薄いと感じている	113	11.0%
意義はあるが負担が大きい	107	10.4%
その他	37	3.6%
無回答	30	2.9%



問②：市では月2回、「広報ひたちおおた」などの広報物を、行政連絡員（班長）を経由して各世帯へ配布・回覧をしています。広報物の受け取りにあたり、困っている点や課題となっている事柄はありますか。【複数回答可】

→ 困っている点や課題については、「問題がない」が90.9%と最も多くなっている。

選択肢	回答数	割合
問題はない	936	90.9%
ポスト等にきちんと入っていない	21	2.0%
配達場所が毎回違う	5	0.5%
その他	58	5.6%
無回答	25	2.4%

(n=1030)

【その他】

- 月2回でなく、月1回で十分。
- 電子媒体でも良いのではないかな。

問③：広報物の配布・回覧にあたり、困っている点や課題となっている事柄はありますか。

→ 「問題はない」が67.5%と最も多く、次いで、「回覧板が回りきるまで時間がかかる」が13.5%、「広報物を小班ごとに仕分けるのが手間である。」が12.8%などとなっている。

選択肢	回答数	割合
問題はない	695	67.5%
回覧板が回りきるまで時間がかかる	139	13.5%
広報物を小班ごとに仕分けるのが手間である	132	12.8%
家と家の距離が離れていて、回覧板を回すのが大変である	89	8.6%
小班が多いため、回覧板を届けるのが大変である	13	1.3%
その他	67	6.5%
無回答	22	2.1%

(n=1030)

【その他】

- 月に2度も広報物があるので団地内で配布したものと合わせたりなどのタイミングを見なければならぬのが手間。働き、子育て世代には面倒。
- 雨風が強い場合、手渡しできない場合の置き場所に苦労する
- JAの回覧は物販などの宣伝物が多く、疑問を感じる。

問④：ごみの集積所の運営について、困っている点や課題となっている事柄はありますか。

【複数回答可】

→ 「問題はない」が59.1%と最も多く、次いで「カラスや犬・猫等の動物にあらされてしまう」が15.3%などとなっている。

選択肢	回答数	割合
問題はない	609	59.1%
カラスや犬・猫等の動物にあらされてしまう	158	15.3%
ごみ出しのルール（分別区分）を守らない方がいる	132	12.8%
地区外の人がごみを置いて行ってしまう	126	12.2%
ごみ出しの時間を守らない方がいる	75	7.3%
その他	86	8.3%
無回答	27	2.6%

(n=1030)

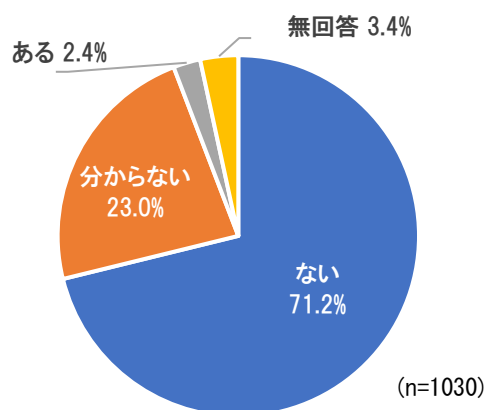
【その他】

- 農村部のため、ゴミ集積所が遠く、車で行かねばならないので、車が運転できなくなると不便です。
- 管理、清掃の業務を全うしない人がいる
- 鉄・アルミ製の箱型集積BOXの市よりの支給をお願いしたい。

問⑤：市では、現在、高齢等を理由にごみ出しが困難な方々を支援（安否確認を含む）していただくため、町会に対し1班につき5,000円の報奨金を交付しています。現在、班として、高齢等を理由にごみ出し困難な世帯に対し、家庭ごみを地域のゴミ集積所まで搬出するなど支援をしている世帯はありますか。

→ 「ない」が71.2%、「分からない」が23.0%、「ある」が2.4%となっている。「ある」と答えた方うち、支援している世帯は36世帯となっている。

選択肢	回答数	割合
ない	733	71.2%
分からない	237	23.0%
ある	25	2.4%
無回答	35	3.4%



「ある」と回答中、支援している世帯数：36世帯

問⑥：班の運営や活動において、何らかの支援やサービスが必要と感じますか。【複数回答可】

→ 班運営や活動への支援等の必要性については、「感じない」が 66.3%と最も多くなっている。

選択肢	回答数	割合
感じない	683	66.3%
ごみ関係（ごみ集積所・ごみ出し）への支援	83	8.1%
市の広報物配布（広報紙の配布や回覧板を回す）への支援	52	5.0%
その他	74	7.2%
無回答	138	13.4%

(n=1030)

【その他】

- 空き家対策（ゴミが捨てられる、草刈り等を実施して欲しい）
- 班員の高齢化により班長の責任が果たせなくなっている。その高齢者が班から抜けると班員の労力が大きくなる。

問⑦：班の運営や活動において、班が抱えている課題や、将来的に不安に感じている事柄はありますか。【複数回答可】

→ 「班長や会員の高齢化」が 66.7%と最も多く、次いで、「班内の世帯減少に伴う会員の減少」が 33.8%となっている。

選択肢	回答数	割合
班長や会員の高齢化	687	66.7%
班内の世帯減少に伴う会員の減少	348	33.8%
特にない	206	20.0%
未加入世帯の増加	146	14.2%
その他	57	5.5%
無回答	32	3.1%

(n=1030)

【その他】

- 町会費などお金などを扱うのが負担に感じる。
- 班長マニュアルがないのに突然まわってくる。町ごとにでもマニュアルがあると良いと思う。
- 戸数が少ないので、統廃合を検討してはどうか。
- 町会から脱退を希望する者あり。募金を拒否する者が出てきたので、増えてくるのではないかと心配している。
- 班の合併は広範囲になりすぎて、さらに班長の負担が増えるのではないかと。
- 若者が仕事をやりながら負担が増える傾向にあります。簡素化に向けた方案が必要になると思います。

問⑧：課題や、将来に不安を感じている事柄について、どのような取り組みを行っていますか。また、どのような取り組みを行うのが良いと思いますか。【複数回答可】

→ すでに取り組んでいるものは「班長業務のマニュアル化」が 11.5%、「定期的に班で話し合い」が 11.8%となっている。

また、今後取り組むのが良いと思うものが「班長業務のマニュアル化」が 23.4%、「定期的に班で話し合い」が 23.0%、「近隣班との連携・統合」が 19.7%などとなっている。

選択肢	すでに取り組んでいる		今後取り組むのが良い	
	回答数	割合	回答数	割合
班長業務のマニュアル化	118	11.5%	241	23.4%
定期的に班で話し合い	116	11.3%	237	23.0%
班長の業務を分担	92	8.9%	143	13.9%
近隣の班との連携・統合	69	6.7%	203	19.7%
班の担い手育成	34	3.3%	136	13.2%
その他	49	4.8%	25	2.4%
無回答	652	63.3%	504	48.9%

(n=1030)

【すでに取り組んでいる項目：その他】

- 毎月班長の連絡会で、町内で情報共有や相談する。
- コロナ禍で定期的に集まっていた話し合いはなくなっている。必要に応じ、話し合いや回覧で対応している。
- 班長業務の簡略化。
- 町会のイベントごとに班長・副会長・公民館と話し合っているので問題を共有できている。
- 一斉清掃の時に問題があれば話し合いを通じて解決する。
- 特に行ってはいない。高齢化は班を統合しても、範囲が広がるだけで、動ける人に結局は負担がかかってしまう。

【今後取り組みを行うのが良い項目：その他】

- 年、数回の班長会議で、「その他」の話し合いで今後も徐々に話し合う場を設けていくとよいと思います。
- LINE の活用。
- 近隣の町会との意見交換
- 広報紙等の市発行は毎月 10、25 日である。ＪＡは 12、15 日。発行日を市の方からＪＡに協議し、市と統一してほしい。当地区では、同じ役員が市、ＪＡを担っているため毎月 3 日から 2 日は高齢者にはありがたい。

問⑨：その他、行政連絡員【班長】に関連して、ご意見等ありましたら教えてください。【自由記述】

- 町会費などの集金は口座振り込み等できないか。もしくはキャッシュレス対応はできないか。領収書作成が手間のため。
- 班長会議等の集まりが「日曜日夕方」にあることが多い。市外で不定休で仕事をしているため参加することができないことが多い。リモートでの参加ができれば市外からの参加も可能になります。高齢者の見守りについてマンパワーに頼らない方法を検討しないといろんなことが手遅れになりそうです。
- 年1回の川周辺のゴミ拾いや集積所の清掃の際に配布される手袋よりも飲み物のほうが良いと思う。暑い中1時間飲み物なしではきついという意見が多かった。
- 現状のままで、負担を増やさないでほしい。
- 回覧や配布物を仕分けして配る負担が大きい。市のホームページで確認するようにしてほしい。市の広報誌など興味のない人は見ていない。
- 市内の広報情報はネット可能なので、わざわざ広報紙を配布しなくても良いと思う。
- 子育て世帯で、働きながら班会長の仕事もしないといけないから、正直すごく大変でやりたくなかった。
- 協力員、連絡員の手当てが少ない。きめ細かい行政サービスを目指すなら、手当てを多くすべきと思う。
- 町会長の任期に市としての決まりはないのか。
- 班長の仕事はどういうものか、いまだによくわからない部分がある。何度も経験している人は良いが初めてやる人にきちんと説明がないので不安に感じる。聞いても人によって答えが違うので、マニュアルがあると安心。
- 普段はあまり会うことは無いのですが、話をしたり出来るので良いと思います。毎年今度はどこの家だとか自覚しています。私は民生委員をしているので、一人暮らしや多少の情報は分かりますが、ほかの人は難しいと思います。情報共有できればと思います。
- 私の班は21世帯あったが、現在19世帯となり、その内一人世帯が6世帯ある。さらに高齢化が進むと輪番制による班長選出や班長をやる人がいなくなってしまう恐れが現実化する。行政協力員制度の根本的な改革が必要である。
- 班長として業務はさほど多いわけではないので、そんなに負担とならないが、今後世帯数の減少は避けられないので、回ってくるのも早くなり、その意味では大変である。だからといって隣の班との統合というのは距離などの事もあるし難しい。
- 特にないが募金活動等に苦痛を感じることもある。
- 1年ごとに高齢者世帯が増えつつある現在、近隣と手をつなぐにも車で移動しなければ繋がらない地域なので、ポツンと一軒家になる確率も高い。
- ネットワークがあり、毎回集まり話し合いをしている。
- 若いのに班長やりたくない、会費払いたくないため、退会した世帯がある。ゴミ集積所は使い、腹立つが、今後増加しないか不安である。
- 高齢化により今のような班の体制では間もなく崩壊が予想される。班の統合や直接班員への連絡が必要であろう。

問⑩：身寄りのない高齢者等に関して以下の質問にお答えください。

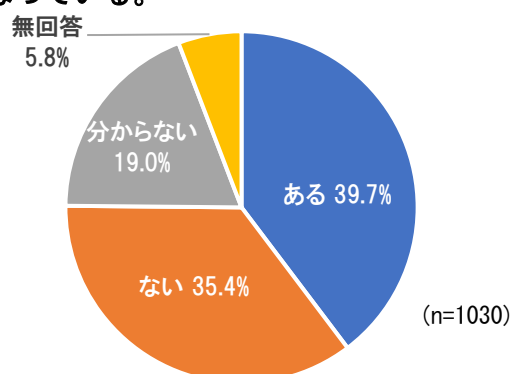
(1) 単身高齢者（身寄りのない高齢者）に関する情報について

①班内に、75 歳以上の単身高齢者世帯はありますか。

→ 75 歳以上の単身高齢者世帯については、「ある」が 39.7%、「ない」が 35.4%、「わからない」が 19.0%となっている。単身世帯数は 875 世帯となっている。

選択肢	回答数	割合
ある	409	39.7%
ない	365	35.4%
分からない	196	19.0%
無回答	60	5.8%

単身世帯数 875 世帯

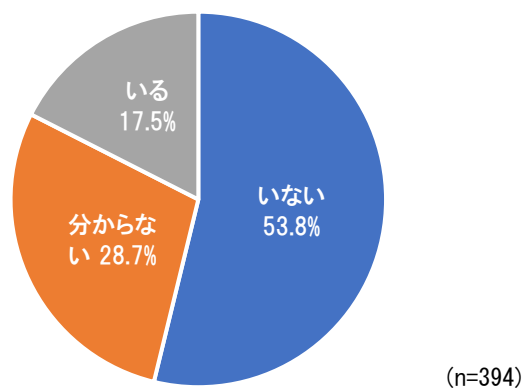


②班内に、75 歳以上の単身高齢者世帯のある班へ伺います。単身高齢者世帯でご本人に事故等
 が起きた際、頼る親族がいない方（身寄りのない高齢者）はいらっしゃいますか。

→ 身寄りのない高齢者については、「いない」が 53.8%、「わからない」が 28.7%、「いる」が 17.5%
 となっている。身寄りのない高齢者世帯数は 106 世帯となっている。

選択肢	回答数	割合
いない	212	53.8%
分からない	113	28.7%
いる	69	17.5%

身寄りのない高齢者世帯数 106 世帯



問⑪：地域の空家についてお伺いします。班内に「空家」はありますか。

→ 地域の空き家については、「ある」が 49.8%、「ない」が 33.0%、「分からない」が 11.9%とな
 っている。（空き家の数：1,122 件 そのうち、管理が不完全な空き家の数：278 件）

選択肢	回答数	割合
ある	513	49.8%
ない	340	33.0%
分からない	123	11.9%
無回答	54	5.2%

空家の数 1,122 件
 管理が不完全な空き家の数 278 件

